



2020年2月6日(木)

NO. 1036号

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

本号3頁

安倍首相改憲発言繰り返す! 自民党は草の根から改憲運動

安倍首相は年頭所感、自民党の旗開き等に続き、第201回国会の施政方針演説で、「国のかたちをかたるもの、それは憲法です」「新しい時代を迎えた今こそ、未来を見つめ、歴史的使命を果たすため、憲法審査会の場で、共に、その責任を果たそうではありませんか」と、憲法改正の実現に向けて力を込めました。さらに、1月27日の衆院予算委員会でも改めて、憲法9条への自衛隊明記について、「命を賭して任務を遂行する自衛隊の正当性を明文化・明確化することは、国防の根本にかかわる」と意欲を示しました。さらに「彼らの正当性を明らかにして行く責任が政治家にはある。最終的には国民投票で憲法改正がなされるわけで、議論がすすんでいくことを期待したい」と述べました。

臨時国会以後の安倍首相の改憲発言		
2019年 12月9日	臨時国会 閉会後の記者会見	「来る通常国会の憲法審査会で、令和の時代にふさわしい憲法改正原案の策定を加速させたい」 「憲法改正は、必ずや、私自身の手で成し遂げたい」
20日	月刊誌『Hanada』(2月号) インタビュー	「必ずや、私自身の手で(憲法改定を)成し遂げていく決意」
2020年 1月1日	年頭所感	「未来をしっかりと見据えながら、この国のかたちに関わる大きな改革を進めていく。その先にあるのが、憲法改正です」
6日	年頭記者会見	「憲法改正を私自身の手で成し遂げていくという考えにはまったく揺らぎはありません」 「令和の時代にふさわしい憲法改正原案の策定を加速させたい」
12日	NHK日曜討論 党首インタビュー	「私自身の手で憲法改正を成し遂げたい」
20日	通常国会 施政方針演説	「その案(改憲案)を示すのは、私たち国会議員の責任ではないでしょうか」 「憲法審査会で、ともに、その責任を果たしていこうではありませんか」
27日	衆院予算委員会 答弁	「この(日本の防衛の)中核たる自衛隊をしっかりと憲法に明記し、その正当性を確定することこそ、まさにこれは安全保障、防衛の根幹」

<しんぶん赤旗より>

安倍首相は、繰り返し、繰り返し、改憲への意欲を語っています。

自民党は4万枚の改憲ポスターを作成し、草の根からの改憲運動

思い通りに改憲を進められない自民党は、2018年末から全国にある衆院小選挙区支部の全てに「憲法改正推進本部」の設置を目指し、さらに2019年秋から党をあげて「草の根」からの改憲運動を推進しています。二階幹事長は、11月に地元和歌山で1000人の集会を開催し、安倍首相はビデオメッセージ寄せています。また、岸田政調会長は、広島、埼玉、福島で地方政調会を開催しています。そして、稲田幹事長代行は議員連盟「女性議員飛躍の会」を中心に全国での街頭演説や勉強会を計画・実施しています。

さらに、自民党は憲法改正推進本部に遊説・組織委員会を12月1日に新設。全国を10ブロックに分けて担当議員を配置することを確認。自民の国会議員・全国組織に安倍首相のメッセージ動画を配布しました。そして、1月7日には自民党として初めて憲法改正を推進するため、「憲法改正の主役は、あなたです。」とのキャッチコピーの改憲ポスターを4万枚印刷するなど、草の根からの改憲運動を進めようとしています。

市民団体が抗議するなか、「たかなみ」中東へ出港

緊張が高まる中東海域での「情報収集活動」のため、海上自衛隊第6護衛隊所属の護衛艦「たかなみ」が2日午前、横須賀基地（神奈川県）を出港しました。地元の市民団体が基地近くで抗議行動を行い、「護衛艦を中東に送るな」「閣議決定は撤回せよ」などと声をあげました。

同護衛艦は海自隊員208人を乗せ、哨戒ヘリコプター2機を搭載。防弾ガラスや機関銃などを追加で装備しています。オマーン湾やアラビア海北部などの3海域の公海で約4カ月間活動した後、次の部隊と交代します。出港に先立って開かれた出国行事で、安倍首相は「任務は、国民の生活に直結する極めて大きな意義を有する」と訓示しました。

横須賀基地に隣接する公園で開かれた抗議行動には約200人の市民が参加。「中東派兵NO!」「即時中止を」と書かれたプラカードを手に「自衛隊員の命を守れ」「憲法9条を守れ」などと訴えました。また、小型ボート2隻を出し、「中東へ行かないで」「中東派遣反対!」と書かれた横断幕を海上で掲げました。



今回の派兵は、防衛省設置法の「調査・研究」に基づき、国会審議を経ずに昨年末に閣議決定。バーレーンの米中央軍司令部に連絡官を派遣するなど、トランプ米政権からの有志連合構想への参加要請に事実上応えるものです。不測の事態には「海上警備行動」を発令でき、武器使用も認められています。

各地のとくくみ

埼玉 「緊急」署名の取り組み出足好調!

目標 = 前回実績参考に 4月末までに50%めざそう!

「反応いいよ」買ったばかりのパンを差し入れてくれた」「中学生3人が、『ボク戦争に行くのいやだから』と、署名してくれたよ」「署名に列ができたよ」「意外に反応いいですよ」など、新署名に取り組んだところから元気の出る報告が届いています。

埼玉憲法会議は、全国市民アクションが呼びかけた「改憲発議に反対する全国緊急署名」を積極的に取り組むことを確認しました。



○目標 3000万人署名実績(埼玉は約80万人)を参考に各団体・組織が自主的に決める。

○節目目標 4月末までにその半分を集める。

○署名推進活動交流会を3月24日に開催する。

新署名推進活動交流会

◇日時 3月24日(火)18:30 ◇場所 埼玉教育会館

◇講演 菱山南帆子さん(許すな!憲法改悪市民連絡会事務局次長)

埼玉憲法会議 3500人分の憲法署名提出

1月29日、「県民要求実現埼玉大運動実行委員会」が取り組む国会行動埼玉デーに8団体57人が参加し、日本共産党の伊藤岳参院議員の国会情勢報告を聞き、これまでの憲法署名などを手渡しました。埼玉憲法会議からも3500人分の署名を提出しました。

〈埼玉憲法会議NEWS希求NO.169より〉

大阪 2.02 緊急署名スタート集会 渡辺講演に220人

2月2日、西淀川区民ホールにて午後2時から開催した全国緊急署名スタート集会には220人が参加しました。丹羽徹幹事長の開会あいさつ、清水忠史日本共産党衆議院議員の国会報告のあと、渡辺治さんが新たな情勢下、「市民と野党の共闘で改憲発議を阻止しよう!さらに広く深く草の根からの闘いを」と題して記念講演しました。

渡辺さんは市民と野党の共闘が安倍改憲を阻んできたことについて、共闘の結成と発展をふり返り、安保以来 55 年ぶりの共闘として成立した戦争法反対の共同とその後の市民連合の結成を語りました。この共闘の壁に対する安倍政権の巻き返しと共闘の危機を経て、3000 万署名の展開と野党共闘の国会内外での頑張りでの参院選での 3 分の 2 割れ、改憲発議を壊したことを指摘。市民アクションや憲法共同センター、9 条の会の奮闘が野党結束を強化させ 13 項目の「共通政策」まで深化、前進させたことに注目しました。

しかし、安倍を退陣に追い込む、安倍政権に代わる政権構想にまでは至っておらず、決して改憲をあきらめていないと強調し、安倍改憲新局面との闘いについて課題を述べました。安倍が憲法審査会での審議入りをめざして野党分断路線を強めてくること、国民投票をみすえ日本会議などによる「草の根からの」闘いを促進していること、中東派遣で実質改憲を先行・加速化させ、明文改憲に利用するねらいをあげ、9 条加憲（自衛隊明記）の危険性を市民の中に訴えること、実質改憲策動に反対し抗議する行動の重要性を訴えました。新局面を迎えた 2020 年、この一年が安倍改憲粉砕か、強行発議を許すかの正真正銘の正念場になると述べ、「全国緊急署名を軸に今年こそ『正念場』を終わらせよう」と力強くよびかけました。〈大阪憲法しんぶん速報版 No. 536 号より〉

福井 「桜」疑惑「逃がすな」と、福井県民集会に 500 人

「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」は 2 日、福井市で「『桜』を逃がすな！福井県民集会」を開き、約 500 人が参加しました。「桜を見る会」疑惑追及の火付け役となった日本共産党の田村智子政策委員長（参院議員）、国民民主党の斉木武志衆院議員が国会報告。立憲民主党、社民党、緑の党など県内 5 野党の代表が参加しました。

福井総がかりアクションの屋敷紘美代表があいさつし、森友・加計問題や「桜」疑惑など権力の腐敗が大きくなっていると指摘。「国会では野党が共闘して安倍政治を追い詰めている。国会の野党のたたかいを市民レベルで支援して声を上げよう」と訴えました。

田村氏は「新型肺炎など国民の命に直結する大切な問題が起きているからこそ、この国の政府が信頼できるのかを本気で問わなければいけない」と指摘。総裁選にも利用していたなどの「桜を見る会」の疑惑に対して、同じ答弁や言い訳に終始する首相を批判し「税金で支援者を増やそうとしたことは断じて許されない」と訴えました。

野党の追及本部が「安倍打倒推進本部」に発展していると述べ「市民の願いによって共闘が前進してきた。暮らしの要求も野党の一致点をつくりあげる共闘へ発展させたい。総選挙に追い込んで、野党が新たな政権をつくる時代を切り開こう」と訴えました

兵庫 兵庫の今後の行動 週刊兵庫憲法共同ニュース 744 号より

◇壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内

- ・2月10日（月）12:15 [東遊園地入り口] 恒例昼パレード
- ・2月28日（金）18:00 [関電兵庫支社前] カンキン 400 回行動

◇地域や団体の催し

- ・2月15日（土）13時半～ 「日韓関係の来し方、行く末を考える」
主催：九条の会、ひがしなだ 場所：東灘区民センター8階第4会議室
講師：深草徹さん・九条の会ひがしなだ共同代表
『戦後最悪の日韓関係—その責任は安倍政権』
参加協力費：¥500 （連）080-1485-5603
- ・2月22日（土）13時半～ 「壊される平和憲法と進む自衛隊ブラック化」
主催：立憲主義と平和を守る西宮の会 場所：西宮市立勤労会館4階
講演：本山美彦さん・京都大学名誉教授 『アメリカの世界戦略と平和憲法』
資料代：¥1000 （連）070-2301-5597
- ・2月23日（日）17時半～ 「神戸市会に「辺野古」請願求める」大署名運動スタート
アップ集会」
主催：よびかけ実行委 場所：兵庫県私学会館大ホール
訴え：稲嶺 進さん・前名護市長 参加費：¥500 （連）080-5631-7699